

全国学校給食週間 1月24日～30日

学校給食週間のはじまり

学校給食は、今から約137年前、明治22年に始まりましたが、戦争で中断してしまいました。第2次世界大戦が終わると、日本では食べるものに困り、痩せて栄養失調になった子どもがたくさんいました。そのことを知ったアメリカの人々が、ラ・ラ（アジア救済団体）を作り、昭和21年12月24日に脱脂粉乳・小麦粉などを、東京の子どもたちにプレゼントしました。こうして、学校給食が再開されました。しかし、今は次の日から冬休みに入るため、1ヶ月ずらした1月24日を給食記念日とし、その日から1週間を「全国学校給食週間」としています。

学校給食の歴史

年	学校給食年表
明治22年	山形県鶴岡町の大督寺におかれた忠愛 <small>ちゅうあい</small> 小学校のお坊さん達が貧しい子どもたちに昼食を与えたのが、 <u>日本の学校給食の始まり</u> だとされている。
大正8年	東京の小学校でパンによる学校給食が始まる。
昭和7年	はじめて、貧困児童のための学校給食が実施される。
昭和15年	貧困児童だけでなく栄養不良、身体虚弱児童も対象に栄養的な学校給食が実施される。
昭和16年	戦争が激しくなり、食料不足のため給食が中止される。
昭和21年	戦後食糧難のため栄養不良になっている子ども達のために、アメリカから脱脂粉乳や小麦粉や缶詰が送られてきて、12月24日東京・神奈川・千葉で <u>再び給食が始められる</u> 。
昭和29年	学校給食法ができる。 <u>大村市で初めての学校給食が、西大村小学校で実施される。</u> （5月10日）
昭和30年	<u>大村小学校・竹松小学校給食開始</u> （9月12日） <u>三城小学校給食開始</u> （9月26日） <u>中央小学校給食開始</u> （10月3日）
昭和31年	<u>福重小学校給食開始</u> （2月13日）
昭和33年	<u>鈴田小学校給食開始</u> （9月15日） <u>松原小学校給食開始</u> （10月1日） 全国の一部の学校で、学校給食に牛乳が出されるようになる。
昭和36年	<u>萱瀬小学校給食開始</u> （3月11日）
昭和37年	<u>三浦小学校給食開始</u> （3月12日）
昭和44年	<u>東大村小学校・黒木小学校給食開始</u> （11月4日）
昭和53年	<u>放虎原小学校給食開始</u> （4月6日）
昭和56年	<u>旭が丘小学校給食開始</u> （4月7日）
昭和58年	<u>富の原小学校給食開始</u> （4月11日） 大村市で米飯給食開始（9月）
平成元年	学校給食100周年（全国）
平成25年	小学校給食センター設立、調理開始（8月28日）
平成29年	<u>萱瀬中学校給食開始</u> （1月10日） <u>玖島中学校給食開始</u> （10月11日）
平成30年	中学校給食センター設立、調理開始（8月29日） 大村中学校・郡中学校・桜が原中学校・西大村中学校給食開始

